



2019～2020

津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH

例会日/毎火曜日

例会場/都シティ津 津市大門7-15

事務所/津市大門10-7

ピッチャーズビル2階

TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/今野信太郎

幹事/樋口直人

E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp

ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/



第2576回例会 2019年8月27日(火) 天候 曇り

—— 9月は基本的教育と識字率向上月間 ——



例会予定

- 9月3日(火) 会員卓話 林 裕行直前会長
- 9月10日(火) 辻正敏ガバナー公式訪問
津・四RC合同例会
- 9月17日(火) 休会
- 9月24日(火) クラブアッセンブリー

進行担当

〔栗田SAA〕

国歌斉唱 ロータリーソング それでこそロータリー

来訪者

〔今野会長〕

- ゲストスピーカー 水野 正信様
(長島観光開発(株) 代表取締役社長)
- 高田 貴富様
(ナガシマリゾート 営業部営業課 課長)

出席報告

〔田口委員〕

- 8月27日 出席率 47名中 37名 78.72%
- 8月6日 修正出席率 47名中 42名 89.36%

ニコBOX

〔伊藤(仁)委員長〕

- 今野信太郎君 ・長島観光開発(株) 代表取締役社長 水野正信様をお迎えして。本日の卓話、よろしくお申し込み申し上げます。
- ・ナガシマリゾート 営業部営業課 課長 高田貴富様、先日は打ち合わせにお越し頂き誠にありがとうございます。
- ・朝晩は少し過ごしやすくなって参りましたね。
- 樋口 直人君 長島観光開発(株) 代表取締役社長 水野正信様、お忙しい所ご来訪いただきありがとうございます。卓話楽しみにしております。よろしくお願いたします。

会長報告

〔今野会長〕

- ◆ 本日は長島観光開発代表取締役社長の水野正信様をお迎えしております。後程、卓話をよろしくお申し込み申し上げます。
- ◆ 本日は外来卓話者に因み遊園地の歴史について述べてみたいと思います。始まりは1583年デンマークコペンハーゲンのデュアハウスバッケン又は1661年イギリス ロンドンのボクスール庭園と言われています。日本では1853年(ペリー来航)にオープンされた、浅草花やしきが最古とされています。当時はブランコが1台しかなく、憩いの場でした。また、この遊園地は、1942年に一度解体され、その後1947年に再開しています。現在も稼働を続けている遊園地であり、日本では最古のローラーコースターが現存しています。また、1911年に娯楽場として生まれた宝塚新温泉を遊園地の先駆けとする説もあります。こちらは宝塚ファミリーランドと名称を変え稼働していましたが、2003年に営業を終了しています。この時期に生まれ、断絶することなく、最も長く営業を続けている遊園地は、1912年開園の「ひらかたパーク」です。

幹事報告

〔樋口幹事〕

- ★ 9月3日(火) 例会終了後臨時総会開催の件
- ★ IMのご案内の件
- ★ 地区大会の件
- ★ 例会変更なし

- 伊藤 孝行君 長島観光開発の水野社長をお迎えして。憩いのメッカのお話しをお伺い致します。皆さんよろしくお願いたします。
- 村木 正二君 水野社長、本日卓話でお世話になります。!

山本 哲司君 先週熊本県で行われましたインターハイにおいて、息子がボート男子ダブルスカルで7位入賞を果たしました。例会を休まさせていただいて応援に行った甲斐がありました。

長島観光開発㈱ 代表取締役社長 水野正信様をお迎えして、栗田 明君、鈴木康義君、林 裕行君、田口浩司君、何川 高君、小川恭平君、澤田勝志君、吹戸研一君、山田俊郎君、伊藤歳恭君、佐々木喬君、千原一典君、羽根昌江君、大池雅之君、田島和雄君、山本哲也君

外来卓話

ナガシマリゾートが目指すもの



長島観光開発株式会社
代表取締役社長 水野 正信 様

卓話の内容は「ナガシマリゾートが目指すもの」とさせていただきました。

レジャー産業の会社において社員と一体感を持って同じ目標に向かって運営するには何が必要なのか、私なりに考えてみました。

会社を運営するうえで何を目標にするのか、仕事をするうえでよりどころとするところは何か、皆さんもお考えになると思います。

弊社設立の趣旨は三重県桑名市長島町及びその周辺の総合開発に寄与する、当会社運営の方針は当会社設立の趣旨に沿わなければならないと定めています。

桑名市長島町は南北に細長い島です。島全体をリゾート地として開発していこうとする意欲溢れたものです。

私は開業してから9年目に入社しました。

入社した時からこの企業理念を意識してきたというわけではないのですが、いつの頃からか意識するようになりました。

創業時の人達の希望にあふれたとても気高いものだと思いますし、私にとって仕事をするうえで心の支えともなっています。

施設は大衆的で健康的な施設づくりを目指しています。

長島町全体をリゾートにしようという意気込みですから、施設が広がっていろんな楽しみ方が出来るようになれば他施設との差別化も出来ますし、競争力も上げていくことが可能になります。

また、社員の士気も上げられるのではないかと考えています。

多くの人を集めていろんな人に喜んでもらう、このことを続けていくと自然に多様な施設づくりを目指すことになります。

このことは結果として街づくりをしていくことにつながってきます。

道路は渋滞しないでスムーズに来ていただけるか、周辺は汚くないか、長島町にお客様が入られた時からリゾート地にふさわしい非日常を感じていただけるか、住民の人々の暮らしに迷惑はかけていないか、ナガシマリゾートをいかに理解していただ

けるか、コミュニケーションを計っていかなければなりません。

そんなことを考えながら日々をすごしています。

お客様をお迎えするにあたってコーポレートスローガンとして、安全・清潔・サービスを掲げています。社員が常に意識するようくり返し伝えています。

安全は弊社にとって最優先されます。法令の定めを遵守するだけでなく、安全（特に人命）が保たれる工夫を行っています。

次に清潔ですが、施設を提供するサービス業にとっては商品力を低下させない努力は大切です。維持管理だけでなくチョットしたゴミも見ついたら拾うことを実践しています。

さて、次のサービスですが、さわやかな笑顔のサービスです。

お客様からアンケートをいただくのですが、笑顔に関するお客様の声が大変多いのです。

素晴らしい笑顔で接していただいて本当に元気になりました、反対に笑顔もなく不愉快でしたという声もあります。

笑顔が与える影響は大きいのです。

どうやら笑顔にはお客様の人生をも変えてしまうのかと思うほどの力がありそうです。心からの笑顔でお迎えし、又お越しいただけるよう笑顔でお送りしたいと思います。

以上のことが会社で皆が共有することです。

スタートさせたら止まらない仕事です。常に新鮮な驚きや非日常的な楽しさをつくり出していかなければなりません。

55周年ですから懐かしさも感じていただける部分もあるのかなと思います。

これからも中京圏のアーバンリゾートとしての位置づけをしっかりとしたいと考えています。

